資料２－１

北海道現代史　通史編１　目次

政治・行政

第一章　敗戦後の政治・行政の出発

第一節　地方自治体としての北海道……

(1) 戦前の北海道の地方制度……

(2) 官選知事時代の道政……

(3) 地方制度調査会における議論……

第二節　政党政治の復活……

(1) 戦後直後の各政党の結党……

(2) 国政選挙と統一地方選挙……

第三節　日ソ戦争と住民の引き揚げ……

(1) ソ連による樺太・千島の占領……

樺太での日ソ戦争と「緊急疎開」／千島での日ソ戦争と「脱出」／ソ連占領下の樺太と住民の「脱出」／ソ連による千島占領と「脱出（自由引揚）」／樺太・千島の「公式引揚」／「後期集団引揚げ」と残留日本人／シベリア抑留

(2) 北海道での引揚者受入政策……

樺太・千島の引揚者たち／樺太引揚者の定着先／都市部への定着／引揚者住宅街／稚内市への定着／炭鉱都市での引揚者受入れ／炭鉱住宅／王子製紙の引揚者受入れ／釧路市への定着／新篠津村新樺地区／第五次公式引揚と農業者／魚田開発事業／国後島島民の奥尻島神威脇入植／魚田開発事業と樺太引揚者

(3) 樺太からの引揚促進に関する請願、陳情……

樺太学徒救出に関する請願／「緊急疎開」後の引揚促進に関する陳情／「公式引揚」開始後に行われた引揚促進運動

(4) 引揚者団体の結成……

樺太関係者の再結集／農業部、水産部、林務部の独立／東京組の動向／全国樺太連盟の誕生／同郷会や同窓会の結成

第二章　戦後復興期の道政

第一節　占領期～独立後の道政……

(1) 田中道政下の予算編成・執行過程……

(2) 田中道政下の各級選挙と政党政治……

(3) 田中道政下の議会（予算審議過程）……

(4) 第１次５カ年計画・第２次５カ年計画……

第二節　再軍備・北方領土・北洋漁業……

(1) 冷戦と再軍備のなかの北海道……

(2) 北方領土返還運動の叢生と日ソ交渉……

(3) 貝殻島コンブ協定と函館漁業……

(4) 自治体外交と外資導入論……

第三節　北海道開発体制の形成……
(1)　終戦後の諸構想……
(2)　北海道開発法の制定……
(3)　北海道開発法の改正・政府系金融機関の創設……
(4)　北海道開発をめぐる諸構想……
(5)　北海道開発をめぐる議論……
第四節　道内市町村（合併）の動向・地方財政……
(1)　戦後地方自治制度の形成……
(2)　戦後地方自治の胎動……
(3)　町村合併の推進……
(4)　戦後地方財政制度の規制と道内自治体の現状……
第三章　高度成長期の道政
第一節　北海道における五五年体制：政治と行政……
(1)　町村道政下の予算編成・執行過程……
(2)　町村道政下の各級選挙と政党政治……
(3)　町村道政下の議会（予算審議過程）……
(4)　革新自治体の時代……
第二節　北海道における米ソ冷戦の展開（領土交渉の停滞）……
(1)　防衛・自衛隊……

(2)　領土……
(3)　漁業……
(4)　自治体外交……
第三節　地域開発の時代の北海道開発政策……
(1)　国土計画と地域開発……
(2)　第２期北海道総合開発計画……
第四節　道内市町村（合併）の動向・地方財政……
(1)　高度成長期の地方自治の動向……
(2)　政令指定都市札幌市の誕生……
(3)　総合計画によるまちづくり……
(4)　高度成長期の地方財政……
第四章　「国土開発」期の道政
第一節　札幌オリンピックの開催と革新自治体の斜陽……
(1)　堂垣内道政前半期の予算編成・執行過程……
(2)　堂垣内道政前半期の各級選挙と政党政治……
(3)　堂垣内道政前半期の道議会と開発……
(4)　革新自治体の退潮と保守・中道連合の伸張……
第二節　北方領土返還へのナショナリズム（佐藤内閣～田中内閣）……
(1)　防衛・自衛隊……

(2) 領土……
(3) 漁業……
(4) 自治体外交……
第三節 第三期北海道総合開発計画と道―開発庁関係の変容……
(1) 第３期北海道総合開発計画……
(2) 行政改革と北海道開発……
(3) 大規模開発プロジェクトの始動……
第四節 道内市町村の利益誘導と基幹的交通インフラの形成……
(1) 戦後の鉄道政策と北海道……
(2) 鉄道政策に見る北海道の政治・行政……
(3) 道路政策に見る北海道の政治・行政……
(4) 空港政策に見る北海道の政治・行政……

産業・経済

第一章 地域開発と経済政策
第一節 北海道開発の位置と資源開発・基盤整備の推進……
(1) 戦後の混乱期と北海道開発の位置付け……
戦前期の北海道開発／北海道開発の位置付けをめぐって

(2) 北海道総合開発計画と第一次五カ年計画……
第二節 高度経済成長と北海道総合開発計画……
(1) 北海道「開発論争」の内容と意義……
開発論争の内容
(2) 高度経済成長の始まりと第二次五カ年計画……
(3) 高度経済成長と第二期北海道総合開発計画……
第三節 戦後復興期の経済構造と人口・雇用……
(1) 日本経済復興における北海道の位置付け……
北海道経済の基本的特徴／終戦後の道政課題／資源優位の再確認と辺境論
(2) 政策展開の新たな動き……
経済実相報告書―地域自立への志向／地域経済の分析／戦後北海道の産業構造／終戦から高度成長期までの北海道経済の概観―経済白書
(3) 戦後の人口動向と労働市場……
労働市場の状況／ベビーブームと大幅な転入超過／繊維工業に見る労働力給源構造の特殊性
第四節 高度経済成長期の北海道経済……
(1) 北海道経済の相対的地位低下……
高度経済成長への乗り遅れ／原料優位性の喪失／挽回への模索―新産都市から苫東へ／加工型工業と地方工業団地
(2) 公共投資への依存と移輸出入……

高度経済成長の基本構造／産業構造の推移／北海道の域際収支
(3) 労働力需給構造の変化―本州地方地域との同質化と一極集中……
労働力の「南下現象」／離農と過疎化の進展／季節労働の課題

第二章　農業

第一節　三つの農地改革（一九四五～五〇年）……
(1) 北海道における農地改革の実施……
全国的位置付けと特徴／開発途上地域としての農地改革／農地改革の連続性と三つの要素
(2) 三つの農地改革の内容……
耕地解放と自作農体制／牧野解放と酪農・畜産展開の基礎／戦後開拓入植と未墾地買収・払下げ
(3) アイヌ民族にとっての農地改革……
(4) 自作農体制と農業団体……

第二節　農業近代化の始動（一九五〇年代～六〇年代）……
(1) 開拓の進展とビッグプロジェクト……
戦後開拓から開拓パイロット事業へ／土地改良計画による水田開発の進展／世界銀行融資によるビッグプロジェクト
(2) 寒地農業対策と村づくり……
三一冷害を契機とした寒冷地農業対策とマル寒法／新農村建設運動と集落
(3) 農業基本法と近代化農政の始動……

農業近代化と農業構造改善事業／離農の多発と農地適正移動対策
(4) 農産物担保金融の形成と総合農協の展開……
農業手形制度と農協の農産物担保金融／農協の米肥型事業方式の形成／ホクレンへの統合と畑作物の販売

第三節　農業地帯の形成　一九七〇年代初頭……
(1) 稲作の拡大と技術向上……
水田開発の進展と地域性／耕うん機の導入と稲作技術
(2) 畑作地帯の作付けと技術の変化……
十勝における作物構成の変化／畑作における技術の向上
(3) 酪農の振興と酪農地帯の形成……
都市近郊から畑作での有畜農業へ／草地型酪農地帯の形成
(4) 北海道の中山間地帯……
北海道の中山間地帯の特徴／もう一つの北海道農業の姿

第三章　林業

第一節　戦後改革と林業の復興（一九四五年～五〇年代半ば）……
(1) 敗戦時前後の北海道の森林・林業……
戦時伐採による森林荒廃／戦後開拓と林業の競合
(2) 林政統一と民有林行政の改革・整備……

林政統一／民有林行政体制の整備
(3) 荒廃森林の復旧・造林の推進……
造林未済地解消に向けた取組／造林の進展とその担い手
(4) 森林伐採の動向と林産業の復興……
木材統制の撤廃／森林伐採の動向とその担い手／用途別素材生産の動向と特徴／林産業の復興
第二節 林業・林産業の発展（一九五〇年代前半～六〇年代半ば）……
(1) 洞爺丸台風による風倒処理と林力増強計画……
洞爺丸台風による風倒被害とその処理／国有林林力増強計画の策定と実行／森林伐採の動向
(2) 民有林の経営展開と林業構造改善事業の開始……
造林の進展／民有林行財政の拡充／林業基本法の制定／林業構造改善事業の開始
(3) 林産業の発展と木炭生産の崩壊……
木炭生産の崩壊とパルプ利用の増大／紙パルプ産業の展開／製材業等の展開
第三節 高度経済成長の終焉・環境問題の登場と林業・林産業（一九六〇年代半ば～七〇年代半ば）……
(1) 林業生産の縮小への転換……
森林伐採の動向と森林資源の状況／民有林業振興に向けた取組／森林組合事業の発展
(2) 高度経済成長の終焉・外材進出の下での林産業……
製材業の動向／合板・単板産業の動向／紙パルプ産業の動向
(3) 林業における環境問題の登場……
国有林・道有林の経営転換／林地開発問題と政策的対応／森林レクリエーション需要への対応

第四章 水産業 ―戦後改革から高度経済成長へ（一九四五～七〇年代半ば）―
第一節 漁業制度改革と戦後復興（一九四五～六〇年）……
(1) 占領期における漁業再建……
漁村の窮迫と過剰人口問題／魚田開発と小手繰網漁業の整理転換／漁場制約下の沖合漁業展開
(2) 漁業制度改革と漁村の民主化……
漁業制度改革に向けた北海道水産業界の対応／制度改革の実施過程とその結果
(3) 北洋漁業の再開と漁業転換政策……
マ・ラインの廃止と北洋漁業の再開／北洋サケマス漁業の展開と本道漁業者の進出／中型機船底曳網漁業の整理・転換
第二節 高度経済成長期における資本制漁業の展開（一九六〇～七五年）……
(1) 沖合・遠洋漁業の急拡大……
(2) 北洋サケマス漁業と日ソ漁業交渉……
日ソ漁業交渉による規制強化と母船式サケマス延縄漁業の対応／太平洋中型サケマス流網漁業の動向
(3) 底曳網漁業の展開と大規模漁業基地の形成……
沖合底曳網漁船の大型化と生産力強化／北転船の登場と大規模漁業基地の形成
第三節 高度経済成長期における沿岸漁業の展開（一九六〇～七五年）……
(1) 近代化・構造改善と漁家経営……
漁家における近代化投資の拡大／構造改善事業の展開／漁家経営の現状と営漁改善の取組

(2) 水産物需要の増大と沿岸漁業生産の動向……
沿岸漁業生産物の魚価上昇／作り育てる漁業の展開と地域格差の拡大
第五章　工業と情報通信
第一節　工業の概況……
(1) 終戦直後の混乱と相対的な成長……
相対的な優位性と終戦直後の隘路／復興の進展
(2) 高度成長期の発展と相対的な地位の低下……
道内工業の成長と相対的な遅れ／北海道工業の特徴
第二節　復興期の工業……
(1) 生産財上位業種の成長……
(2) 鉄鋼業の動向……
復興期の課題と合理化／復興期の道内鉄鋼業の動向
(3) パルプ・紙・紙加工品製造業の動向……
終戦直後の課題と復興／道内パルプ・紙・紙加工品製造業の復興
(4) 食品製造業の動向……
道内乳製品製造業の復興と競争の激化
第三節　高度成長期の大型投資……
(1) 道内主要製造業の動向……

道内工業部門の成長と限界／主要生産財製造業の成長
(2) 鉄鋼業の動向……
鉄鋼業の成長と設備投資競争／道内鉄鋼業の成長と設備投資／一九七〇年以降の停滞
(3) パルプ・紙・紙加工品製造業の動向……
全国的動向／道内企業の設備投資／資本の自由化と合併
(4) 造船業
造船業の成長／道内造船業の成長
第四節　大衆消費の時代へ……
(1) 道内消費財製造業の成長と特徴……
(2) 食品製造業……
道内食品製造業の発展／乳製品製造業の発展
(3) ビール事業……
ビール事業の成長／ビール各社の道内進出とサッポロビールの誕生
(4) その他の消費財製造業……
製糖業界の動向／パン製造業界の動向／道内家具製造業の成長と限界／三馬ゴムの成長
第五節　公害問題とその対応……
公害の顕在化と企業の対策／道内鉄鋼業の公害対策／王子製紙苫小牧工場の公害対策
第六節　通信インフラの展開……
(1) 日本における通信インフラの展開……

電話加入者の増加と自動化・即時化の進展
(2) 北海道における通信インフラの展開……
道内電話加入者の増加と自動化・即時化の進展
第七節 テレビの時代と情報産業の拡大……
(1) ラジオ放送の復興と民間放送局の参入……
戦後のラジオ放送／道内における民間事業者参入の動き
(2) テレビ放送の開始と発展……
テレビ放送の開始と発展／道内民間テレビ放送の展開
(3) 北海道内における新聞の発展……
道内新聞事業の復興と新規参入の増加／高度成長期の成長と全国紙の道内進出
第六章 商業
第一節 流通統制から戦後復興へ……
(1) 必需物資の流通統制とその解除……
流通統制と闇市（ヤミ市）
(2) 商業活動の戦後復興……
商業者数の増加／卸売業の復興／百貨店の復興と発展／商店街の復興と課題
第二節 商業活動の拡大……
(1) 卸売業の拡大と地域構造……

卸売業の展開と札幌への集中／卸商業団地の建設／卸売市場の整備
(2) 小売業の拡大と第二次百貨店法……
小売業の拡大／百貨店の展開と第二次百貨店法／セルフサービス店の急増／スーパーの成立と展開／生協の急拡大／中小小売業者による店舗共同化
(3) 商店街の発展と組織化……
商店街の組織化／共同事業の展開／旭川・平和通買物公園
第七章 建設業
第一節 北海道開発の推進と建設業協会設立（一九四五～六〇年）……
(1) 北海道開発の推進……
北海道開発庁と北海道開発局を設置／大型プロジェクトが相次いで始動
(2) 道内建設業界の動き……
北海道建設業協会が発足／入札制度改正に業界挙げて対応／道外業者に対抗して北海道発の企業が発足
第二節 オリンピックとオイルショック（一九六〇年代～七〇年代半ば）……
(1) 「開道一〇〇年」と札幌オリンピック開催……
道庁「赤レンガ」庁舎の復元／札幌オリンピック開催／工事量激増で浮き彫りになった人手不足／オイルショックが「狂乱物価」招く／資材価格高騰と予算減
第八章 交通

第一節　復興と輸送……
(1)　国鉄の復興と洞爺丸台風……
　国鉄の戦争被害状況／北海道国鉄と洞爺丸台風
(2)　簡易軌道と森林鉄道……
　北海道開拓と簡易軌道／北海道の森林鉄道建設と発展
(3)　その他の鉄道・軌道輸送……
　定山渓鉄道／土地改良事業と客土軌道
(4)　北海道航空輸送の黎明期……
第二節　輸送量の増大と迫られる近代化……
(1)　輸送量増大と国鉄の近代化……
　輸送量増大と輸送手段の変化／国鉄の近代化／北海道国鉄のディーゼル化・電化・複線化
(2)　道路整備と航空輸送……
　北海道における道路整備と「弾丸道路」／北海道内の空港整備
第三節　モータリゼーションと都市交通の再編……
(1)　都市の交通事情……
　函館市における都市交通事情／札幌市の交通事情／周辺地域のバス交通事情
(2)　トラック輸送とフェリー事業の発展……
　渡船場とフェリー／フェリー事業の発展

第九章　鉱業とエネルギー
第一節　戦後の復興と石炭政策のトレース（一九四五～七〇年）……
(1)　荒廃した戦後の炭鉱……
　戦後の混乱と炭鉱の荒廃／石炭生産の緊急対策
(2)　傾斜生産方式による産業復興……
　傾斜生産方式／高炭価問題
(3)　石炭鉱業「明から暗」の反転……
　炭鉱合理化の進行／一九五三年八月の企業合理化実施要綱
(4)　「エネルギー革命」の浸透……
　石炭鉱業合理化臨時措置法の制定
(5)　炭鉱の女性（炭婦協）……
第二節　石炭政策下での炭鉱……
(1)　第一次石炭政策（一九六三～六四年度）……
(2)　第二次石炭政策（一九六五～六六年度）……
(3)　第三次石炭政策（一九六七～六八年度）……
(4)　第四次石炭政策（一九六九～七二年度）……
第三節　炭鉱技術の変遷と災害……
(1)　採炭の技術……
　緩傾斜採炭（傾斜角二〇度未満）／急傾斜採炭法（傾斜角三五度以上～五五度未満）／水力採炭法／露

天掘り採炭
(2) 坑道掘進の技術……穿孔／発破／掘進機械・積み込みと切羽運搬／支保（支柱）
(3) 運搬の技術……切羽運搬／水平坑道運搬／斜坑運搬／立坑運搬／坑外運搬／炭鉱専用鉄道
(4) 選炭の技術……
(5) 炭鉱の技術教育……高等教育機関での採鉱教育／中等教育機関での採鉱教育
(6) 炭鉱の災害と内包する課題……炭鉱の災害と対策／炭鉱の保安行政／石炭と環境・鉱害
第四節 道内炭鉱の衰亡と産炭地域……
(1) 炭鉱終焉の過程……産炭地域振興臨時措置法での地域指定／産炭地振興対策
(2) 産炭地域振興と離職者対策……
第五節 戦後の道内鉱山の復興……
(1) 一九四五年以降の動向……
(2) 一九五五年以降の動向……
(3) 一九六五年以降の動向……
第六節 北海道における戦後の電源開発……

(1) 北海道における戦後電気事業の出発と電源開発の特色……戦後電気事業の出発／戦後電源開発の特色
(2) 電源開発（株）と北電による電源開発……電源開発（株）の役割／日高電源一貫開発計画／日高一貫開発計画の第二段階
(3) 北電内陸火力と道営電気事業……北電内陸火力の意義／道による電源開発
第一〇章 金融
第一節 戦時金融体制のからの脱却と戦後金融システムの形成……
(1) 戦後の金融機関再整備……
(2) 北海道における戦後金融システムの形成……北海道拓殖銀行の普通銀行への転換／地方銀行、相互銀行、信用金庫の設立／道外銀行の進出／政府金融機関と信用保証協会の設立／この期の金融機関の活動
第二節 高度経済成長期における北海道の金融構造……
(1) 高度経済成長期の北海道と北海道開発……北海道開発と北海道東北開発公庫の設立
(2) 高度経済成長期の北海道の金融システム……金融機関の店舗数の変化／高度成長期の金融機関の預金残高と貸出残高の推移／産業別貸出残高の推移

／地域別の預金残高、貸出残高の推移／北海道の部門別の資金余剰、不足
第一一章　観光
第一節　戦後観光と観光レクリエーション振興……
(1) 経済復興と観光……
(2) 観光レクリエーションによる余暇生活の向上と地域経済振興……
経済成長期／オイルショック期／観光の推移と特徴／各種交通条件の特徴
第一二章　労働運動
第一節　戦後復興期の労働運動……
(1) 労働運動の復活……
外国人労働者の暴動／土工部屋解放の取組／労働組合の結成／連合体の結成／労働行政の整備
(2) 労働運動の展開……
労働争議の展開／炭鉱労働者の運動と生産管理闘争／メーデーの再開／二・一ゼネスト／職場離脱闘争と山猫スト／経済安定九原則と解雇反対闘争／労働戦線統一の取組と全道労協結成
(3) 五〇年代前半の労働運動……
電産・炭労ストとぐるみ闘争／日鋼室蘭争議
第二節　高度経済成長期の労働運動……
(1) 五〇年代後半の労働運動と王子争議……

道内企業の争議と警職法反対闘争／春闘の展開／家族組織の普及／中小企業の労働運動とその強化／王子争議
(2) 六〇年代の労働運動と地区労の普及……
地区労の活動／六〇年代前半の労働情勢／労資協調組織の結成
(3) 石炭産業の斜陽と労働運動……
石炭政策転換闘争／閉鎖反対闘争

社会・文化

第一章　終戦直後の混乱と生活
第一節　北海道空襲と引揚者の支援……
(1) 北海道空襲と復員・引き揚げ……
空襲による被害／復員と引き揚げ／
(2) 引揚者の支援……
行政的支援と学生の支援／無縁故者の支援
第二節　自力での物資調達と配給・供出……
(1) 自力での物資調達と電力不足……
製塩の勧め／木炭と石炭の調達／電力不足
(2) 配給と供出の実際……

配給の実際／供出の実際
第三節　旧植民地出身者の動向……
(1)　中国人・朝鮮人の略奪・暴行……
室蘭の騒擾／不法行為の概要／日本人や外国人同士の衝突
(2)　朝鮮人と中国人の送還……
送還の実績／逃亡した朝鮮人・中国人
第四節　町内会・部落会……
(1)　内務省・道庁とＧＨＱの取り扱い……
戦時中の設置／ＧＨＱの意向と道庁の通達
(2)　ポツダム政令による廃止と復活……
ポツダム政令による廃止／変わらぬ現実と町内会の復活
第五節　進駐軍への対応……
(1)　建物の接収と基地の建設……
道内各地への進駐と建物の接収／キャンプ・クロフォード
(2)　進駐軍のための対応……
受け入れの心構え／道路整備と機械除雪／慰安施設の整備と土産品確保
第六節　進駐軍兵士の不法行為と対進駐軍不法行為……
(1)　進駐軍兵士の不法行為……
不法行為の内容／再調査で把握された不法行為

(2)　進駐軍に対する不法行為……
窃盗がほとんどの不法行為／殺人事件の扱い
第二章　農山漁村・炭鉱の生活
第一節　農山漁村の生活……
(1)　戦後復興期の農山漁村社会……
終戦直後の農山漁村社会／生活改善の取り組み／新生活運動の開始／農事組合の再編
(2)　高度経済成長期の農山漁村社会……
インフラの整備と耐久消費財の普及／農家経済の状況／農漁民の減少と地域社会への影響／生活問題の変化とそれへの対応／労働力不足・健康問題に関する対策／農漁村集落団地造成事業の実施
第二節　炭鉱の生活……
(1)　占領下・復興期の炭鉱……
朝鮮人・中国人の動向／労働者確保策としての自家用耕作地の提供／米の増配とリンク物資／炭鉱住宅／慰安の取り組み／人気の職場としての炭鉱／炭鉱における職員と鉱員の差／炭鉱における労働組合／労働組合の文化活動／炭鉱をめぐる状況の変化
(2)　高度経済成長期の炭鉱の生活……
合理化の始まり／スクラップ・アンド・ビルド政策の影響／閉山と炭鉱離職者の動向／文化活動の課題／炭鉱の福利厚生の変化

第三章　都市化と都市生活
第一節　占領下・復興期の都市……
(1)　戦後処理……
建物疎開／建物疎開による跡地利用／戦災者・引揚者の住宅対策
(2)　戦災都市の復興……
特別都市計画法と指定都市／各都市の復興状況
(3)　闇市……
配給と遅配・欠配／闇市と闇価格／闇市の取締り／統制の緩和／カツギ屋とガンガン部隊
(4)　都市住民の買い出しと自給自足策……
買い出し／物々交換会／自給菜園
(5)　道路の馬糞……
道路の馬糞と対策
第二節　高度経済成長期の都市化と都市生活……
(1)　都市化と大型団地……
市制施行と市域の拡大／都市への人口集中／大型住宅団地の形成
(2)　都市基盤の整備……
都市基盤整備の要望／スーパーマーケットとコンビニの誕生／し尿の処理／塵芥の処理／都市生活の世論調査／道路の整備／買物公園の誕生／札幌オリンピックによる都市基盤の整備／地域コミュニティ計画

第四章　戦後社会の中のアイヌ民族の生活と文化
第五章　保健・福祉・医療・介護
第一節　保健・福祉……
(1)　戦後復興期の保健・福祉……
終戦直後の状況／児童相談所、保健所、開拓保健婦の設置／障害者福祉の始まり／道立精神病院の開設／社会福祉事業体制の整備
(2)　高度経済成長と保健・福祉体制の整備……
生活保障の整備／母子保健・福祉の動き／精神科病院の増加／障害者福祉施設の整備
第二節　医療・介護……
(1)　終戦前後の医療現場と公衆衛生……
医療従事者の養成／ＧＨＱの医療、衛生政策／終戦後の伝染病の発生／戦後の人口動態
(2)　医療体制の整備と疾病対策……
新生北海道医師会の活動／病院、医療制度の整備／戦後の感染症の発生とその他の疾病／血液事業と救急医療制度
(3)　新たな課題と高齢化社会のはじまり……
医療の偏在と無医村、へき地医療対策／「乱診乱療」等と高齢者の「乱受診」／高齢化社会への対応のはじまり

(4) 医療制度の発展と公衆衛生の現状……
医療体制の進展／北海道の死因の変化／公衆衛生の状況
第六章　社会運動
第一節　市民・環境・政治運動……
(1) 開発と自然保護運動……
阿寒岳硫黄採掘をめぐる運動／北海道における電源開発／層雲峡電源開発／豊平電源開発計画／恵庭岳スキー場滑降競技場問題
(2) 巨大多目的ダム建設をめぐる住民運動……
金山ダム建設をめぐる住民運動／岩尾内ダム建設をめぐる住民運動／赤岩ダム建設問題
(3) 大規模開発をめぐる住民・市民運動……
伊達火力発電所をめぐる住民・市民運動／漁業者の動向／建設の進展／環境権訴訟／苫小牧東部開発をめぐる反対運動／小樽運河保存運動
(4) 反戦・平和運動……
北海道と軍事／矢臼別演習場をめぐる運動／別海村議会の演習場誘致決議／二戸の農家のみが残る／運動の展開／べ平連／道内でのべ平連の拡大
(5) 学生運動……
道内の学生運動／北大闘争のはじまり／バリケード封鎖／機動隊導入による封鎖解除／北海学園大学における学園紛争／小樽商科大学における学園紛争／その他の学園紛争／東アジア反日武装戦線による連

続爆破
(6) 生協の拡大……
職域生協の拡大／生協婦人部の設立／職域生協の地域生協への転換／札幌市民生協の設立／消費者運動の拠点としての市民生協／大学生協の拡大
第二節　障がい者運動……
(1) 傷痍軍人への身体障がい者対策から個々の障がい施策へ（一九四五～五五年）……
障がい者福祉法／精神薄弱者福祉法／精神衛生法
(2) 心身障がい者の入所施設設置運動と就労保障、当事者運動の萌芽（一九五五～七五年）……
コロニー設置運動／就労の機会の保証／精神に障がいのある人々の当事者活動
第三節　女性の人権を求める団体活動……
(1) 北海道の特質と終戦直後の婦人団体活動の再開……
男女平等意識の歴史的背景／終戦前の婦人団体活動と終戦後の活動再開
(2) ＧＨＱの戦後処理下における女性の人権……
北海道における特殊婦人について／特殊婦人問題への戦後対応／婦人相談所と保護施設
(3) 婦人団体の組織化……
活発化する婦人団体／多様な婦人団体の組織化
(4) 婦人の地位向上への啓発と団体活動の多様化……
婦人週間と婦人会議／一九六九年の婦人団体／高度経済成長と婦人の地位

第七章　自然災害と防災
第一節　占領下・復興期の自然災害……
(1)　占領下の自然災害――有珠山噴火・冷害・二つの台風・十勝沖地震……
有珠山の噴火と昭和新山／敗戦の年の冷害／カスリーン台風とアイオン台風／十勝沖地震と救援の記録
(2)　洞爺丸台風による被害……
洞爺丸台風による海難事故／洞爺丸台風による全道の被害
第二節　高度経済成長期の冷害とその影響……
(1)　四年に三度の冷害――一九五三～五六年……
戦前から繰り返される冷害／一九五三年と一九五四年の冷害／一九五六年の冷害と人身売買の対策／農業政策の転換／移民計画の推進
(2)　三年連続の冷害――一九六四～六六年……
行政の対応／農民の対応
第三節　高度経済成長期の様々な自然災害……
(1)　台風……
一九五八年の台風／一九六五年の台風
(2)　地震と津波……
チリ地震津波／一九六八年十勝沖地震
(3)　火山の噴火……
十勝岳噴火

第八章　宗教
第一節　北海道宗教史の画期……
第二節　復興と成長の時代……
(1)　人口増加と信教の自由……
(2)　北海道の宗教法人……
(3)　学校教育と社会教化……
(4)　布教活動の成否……
(5)　新宗教の躍動と社会階層……
(6)　高度経済成長で豊かになった時代の宗教……
第九章　まつり
第一節　占領下・復興期のまつり……
(1)　伝統的なまつりと民俗芸能……
北海道のまつりとアイヌ／和人の伝統的なまつりと民俗芸能／花まつり
(2)　ＧＨＱのまつりへのまなざし……
伝統的なまつりの再開／ＧＨＱが記録した札幌花まつり／卑猥な盆踊りとＧＨＱの取り組み
(3)　新しいまつりの始まり……
宗教と無関係の戦前のまつり／観光を目的としたまつり／冬のまつり／夏のまつり／食のまつりの先駆

け／花のまつりの始まり
第二節　まつりへの批判と新しいまつりの隆盛……
(1)　まつりへの批判的まなざし……
はんらんするまつりへの批判／伝統的なまつりへの批判／観光化するアイヌのまつりへの批判
(2)　新しいまつりの展開……
北海へソ祭り／置戸の人間ばん馬／三大あんどんまつり
第一〇章　地域メディア
第一節　活字メディア……
(1)　戦後復興期の活字メディア……
地方新聞の簇生／自治体広報紙
(2)　高度経済成長期の活字メディア……
地方新聞の成長／郷土誌からタウン誌へ／地域政治・経済誌、業界紙
第二節　放送メディア……
(1)　戦後復興期の放送メディア……
有線放送と有線電話／都市部における街頭放送の登場
(2)　高度経済成長期の放送メディア……
民放ローカルラジオ局の開局／民放ローカル・テレビ局の開局／

第一一章　衣食住
第一節　衣文化……
(1)　戦後の物資不足から復興へ……
終戦後の品不足と衣料切符制／北海道における衣服原材料の生産／繊維製品の加工に携わる人々
(2)　生活の再建と衣文化……
衣服の多様化／衣料品の流通／被服教育
(3)　高度経済成長と衣文化……
ファッション化の様相／衣服素材の変化／既製服の一般化／家庭における衣服管理／衣料の消費者問題
第二節　食文化……
(1)　食生活の変化の兆し……
終戦直後の食料事情／北海道に受け継がれてきた地域の代表的な料理／北海道の郷土料理「石狩鍋」
(2)　食生活の洋風化、多様化……
学校給食とパン食／北海道の食の多様化／羊肉を用いたジンギスカンの普及／地域性にこだわった嗜好品としての十勝ワインの誕生
第三節　住文化……
(1)　田中知事の住宅政策……
北海道庁の住宅行政／北方生活文化の基盤としての住宅づくり
(2)　キャンプクロフォード（占領軍真駒内基地）の建設……
北海道庁技術職員と民間建設業者の建設組織／兵舎地区と家族住宅地区のまちづくり

(3) 農家・漁家・町家、炭鉱住宅の趨勢……
農家・漁家・町家の展開／炭鉱住宅の興隆
(4) 防寒住宅をめざして……
北海道総合開発計画における住宅計画／防寒住宅と道立寒地建築研究所／三角屋根コンクリートブロック造住宅の出現
(5) 道営大規模団地の造成へ……
真駒内団地・大麻団地・北広島団地の開発／郊外型住宅団地を含めた道営住宅の諸問題

第一二章 芸術文化

第一節 美術……
(1) 戦後の復興……
全道美術協会の設立／道内各地での美術活動再開
(2) 新たな美術組織……
新北海道美術協会／道内各地でのグループ展の勃興
(3) 美術館設立運動……
北海道美術館建設期成会と美術館設立運動／北海道立美術館開館

第二節 文学……
混沌からの再出発／出版社が大挙札幌へ／同人雑誌花盛り／北海道大学に法文学部設置／『札幌文学』の路線対立／「北海道文学」は可能か／『位置』の人々

第三節 住文化……
(1) 田中知事の住宅政策……
北海道庁の住宅行政／北方生活文化の基盤としての住宅づくり／キャンプクロフォード（占領軍真駒内基地）の建設……
(2) 北海道庁技術職員と民間建設業者の建設組織／兵舎地区と家族住宅地区のまちづくり
(3) 農家・漁家・町家、炭鉱住宅の趨勢……
農家・漁家・町家の展開／炭鉱住宅の興隆
(4) 防寒住宅をめざして……
北海道総合開発計画における住宅計画／防寒住宅と道立寒地建築研究所／三角屋根コンクリートブロック造住宅の出現
(5) 道営大規模団地の造成へ……
真駒内団地・大麻団地・北広島団地の開発／郊外型住宅団地を含めた道営住宅の諸問題

第四節 漫画・アニメーション……
(1) 戦後の道内の漫画状況……
戦後の新聞漫画／戦後の漫画の出版状況／漫画家集団の編成
(2) 漫画産業の拡大……
主な北海道関係の漫画家／団塊の世代向けの漫画雑誌の登場／マニア向け漫画誌（COM、ガロ）とその影響（同人活動）
(3) アニメーションの社会的浸透……

テレビアニメーションの勃興／様々なアニメーション
第五節　演劇……
(1)「北海道演劇」の始動（一九四五年～五〇年）……
活発に動き始める各分野の演劇／リードする人形劇・児童劇活動／組織化の動きが起きる／隠されていたＧＨＱによる検閲
(2)「北海道演劇」の拡がり（一九五一年～六〇年）……
職場演劇から一般演劇へ／札幌中心の活動、北海道内へ／高校演劇の新しい試み／演劇活動に専門化の動き
(3)「北海道演劇」の発展（一九六〇年～七〇年半ば）……
全道的な組織化、始まる／全国組織との繋がりも探る／創作劇が高校演劇から誕生／多彩になる子どもたちのための演劇環境／鑑賞運動、北海道にも／小劇場への新しい動き
第六節　音楽……
(1) クラシック界に新たな息吹……
荒谷正雄と札幌音楽院／放送管弦楽団と放送交響楽団／ジャンルそれぞれの復興と職場団体の興隆／鑑賞団体の興隆／オペラ活動のバトンタッチ／札幌交響楽団設立／音楽会にぎわう／道産子音楽家の輩出
(2) 歌謡曲、そしてフォーク……
第一三章　娯楽・レジャー・スポーツ
第一節　終戦直後の娯楽・レジャー・スポーツ……
(1) 娯楽・レジャー……
下の句かるた／ゲートボールの誕生／雪まつり
(2) スポーツ……
各種大会の復活／国体の北海道開催
第二節　高度経済成長期の娯楽・レジャー・スポーツ……
(1) 娯楽・レジャー……
ボウリングブーム／カニ族の出現
(2) スポーツ……
道内レスリング勢五輪での活躍／相撲王国／札幌五輪開催／企業スポーツの隆盛

教育

第一章　占領下の教育改革
第一節　占領の開始と連合軍の指令、学校視察……
(1) 敗戦と占領の開始……
敗戦と連合国軍の進駐／軍政組織の成立とその後
(2) 四大指令……
日本側との折衝・指導／四大指令に伴う軍政部の指導／指令の徹底
(3) 学校視察……

最初期の視察／初期の視察（監視・威圧型）／中・後期の視察（指導・助言型）
第二節　占領軍の教育施策への指導……
(1)　教育行政などへの指導……
教育委員会選挙および教育委員会／学校再編成／高校入試／教員組合への牽制／社会教育への施策
(2)　教育内容への指導……
講演会での民主主義的教育の説明／モデルスクール／スクエアダンス／教育方法／占領の終了
第二章　教育行政・教育計画
第三章　教育条件整備・教育運動
第四章　小・中学校
第一節　戦後の学校教育改革と子どもの教育環境……
(1)　学校教育の改革……
教科書とノート／学習内容の改革／学校給食
(2)　子どもの生活と教育環境……
引揚児童生徒の生活環境／長期欠席の児童生徒／校舎と教室／視聴覚教育と道徳
第二節　高度経済成長下の学校と子どもの教育環境……
(1)　災害と炭鉱不況下の子どもたち……

冷災害による欠食児童生徒／炭鉱地の教育／学校統廃合
(2)　学校教育と経済成長……
公害教育／低学年のランドセル通学
第三節　私立学校（～一九七〇年頃まで）……
(1)　私立の小学校……
私立小学校の設立
(2)　私立の中学校……
新学制と私立中学校／その後の動向（学校数減少とその教育の特徴）
第五章　高等学校
第一節　新制高等学校発足前の状況……
近代日本における中等段階の多様な学校種／戦後学制改革のための準備作業
第二節　新制高等学校の発足……
道立学校の場合／市町村立学校の場合／私立学校の場合
第三節　高等学校再配置と教育課程改革……
高等学校再配置の実施／高等学校の教育内容
第四節　高度経済成長期の高等学校……
全日制における進学率の急上昇／通信制の発足と技能連携制度の拡大／定時制の漸減／高等学校教育の変質／大学区制への転換

第六章　へき地教育
第一節　戦後復興期のへき地教育研究大会の広がり
(1) へき地教育振興法とへき地学校
(2) へき地教育研究大会の広がりと研究組織の拡大
第二節　へき地教育を取り巻く教育施策と環境改善に向けた取り組み
(1) へき地教育の文教施策と学校施設の整備・改善
(2) 教職員の処遇改善と学習指導
第七章　障がいのある子供の教育
第一節　戦後の特殊教育の黎明
(1) 動き出した特殊教育
　特殊教育の始動
(2) 盲学校、聾学校の義務制の実施と道立移管
　盲学校、聾学校の義務制の実施／道立移管／盲・聾教育の振興
(3) 特殊学級教育の萌芽
　特殊学級設置の促進／精神薄弱特殊学級の萌芽／担任教師の熱意と努力／肢体不自由特殊学級の萌芽／病弱・身体虚弱特殊学級の萌芽
第二節　特殊教育の振興

(1) 養護学校の誕生と新設
　全国初の養護学校／道立養護学校の誕生
(2) 特殊学級の増設促進
　各障がい種の特殊学級教育の萌芽／特殊教育の振興を支えた関係者
(3) 盲・聾・養護学校高等部等の新設
　盲・聾学校高等部単置校の新設／全国初の高等養護学校の開校／肢体不自由、病弱教育の後期中等教育の拡充／幼稚部の設置
(4) 養護学校教育義務制等への対応
　養護学校教育義務制への準備／長期総合教育計画の策定
第八章　高等教育
第九章　アイヌと教育
第一〇章　職業教育・職業訓練・就職
第一節　戦後復興期の開発政策と職業教育
第二節　各種学校と公共職業訓練の展開
第三節　『北海道教育目標』における工業教育の目標

第一一章　社会教育
第一節　集団・団体活動の広がりと社会教育施設……
(1)　公民館……
公民館の設置／公民館の活動／走る公民館
(2)　社会教育活動の広がり……
社会教育活動／図書館／労働・生活の場と図書館
(3)　文化創造と表現活動……
文化サークル／集団・団体の活動／青年の学習／成人教育・婦人教育／新生活運動／社会教育職員
第二節　生活・社会の変化と社会教育活動……
道の社会教育施策／少年団体／青年学級／都市部の勤労青年教育／都市と農村／図書館活動／郷土の歴史に学ぶ

第一二章　就学前教育・保育、子育て、児童福祉
第一節　日本幼稚園協会発行『幼児の教育』から見える戦後北海道における乳幼児の教育と福祉……
(1)　はじめに：本章の目的と資料……
本章の目的と資料
(2)　占領期の小樽市で開かれた幼稚園小学校研究集会：「結末を早くつけない」新たな研究方式へ……
研究集会
(3)　雪国のキリスト教系幼稚園と私立保育所：冬の気温への配慮と雪像づくり、スキー、橇（そり）、スケート……
冬の気温と遊び
(4)　幼稚園設置の宗教別と主体、くる病（骨格が曲がる病気）、研修会とお茶大附属幼稚園教諭の「実際指導」……
設置／くる病／研修会
(5)　函館の幼稚園：全国国公立幼稚園長会と高松宮宣仁臨場、函館市立函館幼稚園増改築……
幼稚園長会／増改築
(6)　都市と群、村における幼児教育施設の地域差と、『幼児の教育』から見える北海道の特徴……
地域差
第二節　北海道の就学前教育・保育と子ども文化：宗教と地域、保育絵本、文学、詩……
(1)　宗教と幼児教育：仏教の札幌花まつりと日本仏教保育協会大会、基督教保育連盟と岩内大火……
仏教／キリスト教
(2)　鉱業地域と沿岸地域：三井芦別鉱業所が芦別市で設立運営した幼稚園、枝幸郡の町立保育所……
鉱業／沿岸
(3)　月刊保育絵本『チャイルドブック』の編集会議と作品、子ども向け文学、子どもたちがつくった詩……
保育絵本／文学／詩
(4)　おわりに：本章を通じて見えてきた一九七〇年頃までの北海道の就学前後の教育と文化と今後の課題：

第一三章　少年司法福祉

第一節　終戦直後の少年教護院・少年保護団体・矯正院……
(1)　司法福祉関係機関における終戦直後の記録……
八月十五日／集団帰農者と家庭学校／食糧難とその影響
(2)　軍国主義的教育の撤廃と民主主義教育の指示……
「御真影奉還」と「修身国史及地理教科用図書」の回収／少年院・少年保護団体に対する「民主主義的改善」に関する指示
(3)　占領軍の少年教護院・少年保護団体視察とその対応……
ＧＨＱによる少年教護院の視察／ＧＨＱによる矯正院の視察／ＧＨＱの視察への対処
第二節　児童福祉法・少年法の施行……
(1)　少年鑑別所・少年院の開設……
少年非行第一のピークと少年鑑別所の開設／北海少年院分院紫明寮と北海少年院分院北光園／函館少年刑務所附設特別少年院金堀学院と千歳少年院
(2)　北海道の教護院と職員養成……
北海道立向陽学院の開設／日吉学院の開設／国立武蔵野学院教護事業職員養成所への道職員の派遣／北海道家庭学校
第三節　高度経済成長期における北海道の教護事業……
(1)　少年非行第二のピークと教護院における分類収容……
(2)　学校教育法施行と教護院在籍者に対する学習保障……